

前回小委員会での 指摘事項とその対応について

前回小委員会での指摘事項とその対応について

発言者	前回小委員会での指摘事項	今回小委員会における対応(案)
石田委員長	地域によって回答率が違うにもかかわらず、全体の過半数を超えているから良いとすべきではない。	第1回コミュニケーション活動で頂いた意見を踏まえ、課題・目標・対策案を追加・修正し、第2回コミュニケーション活動に反映。
石渡委員	多数決をやるのがアンケートではない。計画段階で漏れていた地域の意見を反映し、現案を修正していくことが重要。	
石田委員長 味水委員 牧野委員	いろいろな団体から意見を頂くべきではないか。また、どのような団体から意見を頂くのか選定基準も明確にすべきではないか。	地域で活動している団体からの追加意見聴取を実施し、意見のとりまとめに反映。また、意見聴取を行う団体の選定の考え方を整理。(資料1・別紙参照)
久保田委員 石渡委員 味水委員	今回のアンケートで回答された方がその意見の扱いがどうなったかを知るためにも、今後、今回のアンケートの結果を示すべきではないか。	第1回結果は今後のコミュニケーション活動を通じて説明するとともに、冊子にまとめ、第2回アンケートと合わせて、配布。また、ホームページにおいても公開。
味水委員	現道(国道141号)改良がどの程度困難なのかももう少し詳しく説明すべきではないか。	国道141号の現況を整理し、改良案の内容についてコミュニケーション活動を通じて説明。
二村委員	環境や景観に関する意見を踏まえ、対応案の中に環境・景観などの要素も取り入れる案もあるのではないか。	第1回コミュニケーション活動で頂いた意見を踏まえ、課題・目標・対策案を追加・修正し、第2回コミュニケーション活動に反映。また、環境・景観に配慮した対策の事例について、オープンハウス等を通じて説明。
二村委員	北杜市域では、自治体の意見と住民アンケートの結果に意見の違いがあるよう見受けられるため、その原因を確認してほしい。	第1回コミュニケーション結果や委員会での指摘を踏まえ、第2回コミュニケーション活動の一環として自治体へ再度の意見聴取。
石田委員長	外環ではオープンハウスを何回も開催し丁寧な対応をしている。このような事例を参考にしつつ、丁寧に住民の意見を聞くことが大事。	第2回アンケート期間中に沿線市町村でオープンハウスを開催。なお、今後も地域との対話は継続。

1. 対象者の選定の考え方

第1回意見聴取

- ・各分野において広く公益的な立場で活動している団体
- ・上記団体が推薦する事業所等
- ・地域の代表的な施設等

追加意見聴取

- ・地元自治体の推薦を受けた団体

2. 対象者

対 象 者			配布 箇所数	回収 件数
地元自治体		北杜市・小諸市・佐久市・小海町・川上村・南牧村・南相木村・北相木村・佐久穂町	9市町村	
経済界 等	物流業	トラック協会・共同組合、JA、商工会、工業会社、運輸会社	34箇所	26箇所
	観光業	観光協会、観光・バス会社、宿泊・観光施設	22箇所	15箇所
	医療機関	消防、保健福祉事務所、病院	10箇所	6箇所
	サービス業等	ショッピングセンター、教育委員会、みちの会、婦人会	9箇所	8箇所
	公共交通機関	鉄道事業者、バス事業者	7箇所	7箇所
	【追加団体】	環境団体、景観団体、まちづくり団体	9箇所	8箇所
合 計			100箇所	79箇所